

志賀自然教育研究施設年報

平成12(2000)年2月～平成13(2001)年1月

I 人 事

最近の教育学部組織改組などに伴い、志賀自然教育研究施設の人事異動も行われることになり、平成12年4月1日付で施設主任の別府は教育学部理数科学教育講座へと配置換えになった。ただし、後任者の選考が4月1日までに間に合わなかったこともあり、平成12年度は別府の勤務地を従来どおり志賀自然教育研究施設とし、新たに採用される新主任へ1年かけて事務並びに業務の引き継ぎを行うこととした。

後任人事の公募には多くの応募者があったが、長野県自然保護研究所より井田秀行氏を別府の後任助教授として、志賀自然教育研究施設へ迎えることになり、8月1日付で施設主任として着任いただいた。年度途中からの業務引き継ぎとなったが、施設管理、教育園の園内整備、高山植物園の維持管理などの施設業務及び様々な事務手続きの引き継ぎを随時行った。

II 概 況

4月から5月にかけては、新主任受け入れのため施設本館2階の研究室及び実験室の片付けや整備を行った。一方、カヤノ平ブナ原生林教育園内では、平成11年から12年にかけての冬の間は、幸い雪などによる大きな被害はなく、通常の落枝程度であったため、例年どおりの遊歩道整備を春から行った。また、昨年に引き続き、5月にはカヤノ平のブナ原生林教育園内に、姫路工業大学の江崎保男教授を中心にしたグループが、ブナ林の樹冠観測塔を建て、11月まで様々な観察や調査を行った。

自然教育園のロックガーデンでは、3年ほど前に鉢植えから下ろしてやったヒダカソウが5月に花を付け、移植がうまくいったことを示してくれた。そのほか、チョウノスケソウやコマクサなど、高山植物園はたくさんの花が咲いた一年だった。

従来の林間学校の活動の中に、ボランティア活動を含める学校が見られるようになってきたのも最近の傾向の一つだが、環境庁の自然保護官の紹介もあり、施設でも自然観察路の階段修理に中学生ボランティアを7月に初めて受け入れた。事前学習などでも協力し、より良い受け入れ態勢がとれるよう検討をはじめた。

県の環境自然保護課公園整備係のご尽力で、アズマシクナゲの群生地付近の自然観察路の木道の改修工事が平成11年11月に行われ完成したので、平成12年の春から早速利用が始まった。

III 運 営 委 員 会

1. 第一回運営委員会：平成12年5月24日(水) (学部第一会議室)

最初に赤羽施設長よりあいさつがあり、別府の後任者の人事が現在進行中であること、並びに現在施設主任が空席のため、別府が代わって運営委員会で業務報告等を行う事を運営委員や事務の方々に了解いただいた。

その後(1)平成11年度事業報告、(2)平成11年度決算報告、(3)平成12年度事業案、(4)平成12年度当初予算案及び(5)平成11年度の施設利用状況についてそれぞれ審議し、原案どおり承認された。

上記項目以外に、赤羽施設長より施設の後任人事に伴う将来構想などについて説明があった。加えて、カヤノ平ブナ原生林教育園内の説明板の老朽化が進んでいるので、設備更新の方法がないかどうか事務方へ調査をお願いした。

2. 第二回運営委員会：平成12年11月8日(水) (学部第二会議室)

赤羽施設長のあいさつの後、8月1日付け人事で井田秀行助教授兼施設主任が着任した旨の報告と、井田の自己紹介と抱負が話された。その後、平成12年度の予算の執行状況について報告があり、了承された。引き続き、国立大学環境教育関連施設協議会、平成12年度自然教育および合宿研修の報告があった。また、施設の研究業績への原稿の投稿依頼について提案があり承認された。

上記以外に、施設の概算要求と将来計画についての意見交換を行い、施設の学部内での有効利用、大学内で

の共同利用、冬季間の利用、社会人の利用などの工夫をしていくことが重要であり、また、利用しやすい施設へと少しずつ変えていく努力が必要であることが指摘された。

IV 研究と教育活動

1. 志賀実習

平成12年度は、教育学部2年生全員が対象となる必修授業「自然教育」と教員養成課程合宿研修の合体した志賀実習を10班施設で受け入れた。8月1日付で、井田助教授が着任したため、今年度の実習は、井田及び別府の2人で行った。日程は以下のとおり。

自然教育+教員養成課程合宿研修（総数262名）

第1班：8月2日(水)～4日(金)	第2班：8月4日(金)～6日(日)
第3班：8月21日(月)～23日(水)	第4班：8月23日(水)～25日(金)
第5班：8月28日(月)～30日(水)	第6班：8月31日(水)～9月1日(金)
第7班：9月4日(月)～6日(水)	第8班：9月6日(水)～8日(金)
第9班：9月11日(月)～13日(水)	第10班：9月13日(水)～14日(木)

(第10班の養護学校教員養成課程は自然教育が必修でないため、合宿研修のみの1泊2日)

2. 大学院教育学研究科授業

「生物学特論Ⅰ」前期2単位、「生物学演習Ⅰ」通年2単位で開講（別府）。

3. 出版ほか

研究業績37号（500部印刷）を3月に、自然便り「長池の四季」（400部印刷）を4回（4, 7, 8, 9月）発行した。

4. 大学関係の実習など

平成12年5月22日	信州大学理学部生物学科講義
6月3日	信州大学教育学研究科生物学特論Ⅰ
6月15日	生物学演習Ⅰ
7月26～28日	上越教育大学生物学実習（中村雅彦助教授ほか）
8月7～8日	信州大学教育学部スポーツ実習トレッキング（渡辺隆一教授ほか）
8月9～11日	白梅女子短期大学生物実習
9月26～28日	信州大学理学部物質循環学科実習

5. 研修会・観察会支援活動

平成12年5月26日	環境教育学会現地指導（別府）
6月1日	下高井郡小・中学校教員初任者研修（木島平村カヤノ平）の講師（別府）
6月11日	下伊那郡売木村立売木小中学校環境教育実習（別府）
6月12日	長野県立須坂看護専門学校自然観察の現地指導（別府）
7月17日	埼玉大学教育学部附属中学校高原教室での講演（別府）
7月31日	長野県教育センター自然教育講座の講師（別府）
10月16日	長野県小県郡東部町“子育て学級”の環境問題の講師（別府）
10月22日	野尻湖化石シンポジウムでの講演（井田）
10月29日	長野県自然保護研究所“エコフィエスタ～里山会議”での講演（井田）
平成13年1月10日	飯田市美術博物館伊那谷自然友の会自然講座の講師（井田）

など長野県内外の小・中・高校の林間学校の際の講演多数。加えて、様々な団体主催の自然観察会の講師及び協力、支援。

V 園内整備

例年通り、志賀自然教育園内及びカヤノ平分園内の自然観察路の落ち葉掃除、側溝整備、笹刈り、階段整備を5月から10月まで行った。今年は、8月より井田、別府の2人態勢がとれたため、施設脇のロックガーデンの草取りは、かなり細部まで行うことができた。同時に名札つけ、ロープはりなどの作業も随時行った。

VI 平成11年度の志賀施設の利用状況

(1) 資料館入館者の集計表

表1 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	5(8.9)	302(6.6)	1(4.0)	68(5.8)	6(7.4)	370(6.4)
中 学 校	5(8.9)	1,223(26.6)	1(4.0)	212(18.0)	6(7.4)	1,435(24.9)
高 等 学 校	6(10.7)	1,012(22.0)	1(4.0)	43(3.7)	7(8.6)	1,055(18.3)
大 学	2(3.6)	35(0.8)	1(4.0)	28(2.4)	3(3.7)	63(1.1)
一 般	38(67.9)	2,018(44.0)	21(84.0)	825(70.2)	59(72.8)	2,843(49.3)
計	56(100.0)	4,590(100.0)	25(100.0)	1,176(100.1)	81(99.9)	5,766(100.0)

表2 団体の県内外の比率(%)

団体の種類	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	一 般
県 内	16.7	16.7	14.3	33.3	35.6
県 外	83.3	83.3	85.7	66.7	64.4

表3 月別参観者数

月	個 人 (%)	団 体		計 (%)
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5 月	150(6.2)	3(3.7)	42(0.7)	192(2.4)
6 月	167(7.0)	5(6.2)	118(2.0)	285(3.5)
7 月	438(18.3)	29(35.8)	2,539(44.0)	2,977(36.5)
8 月	1,181(49.4)	32(39.5)	2,785(48.3)	3,966(48.6)
9 月	198(8.3)	7(8.6)	223(3.9)	421(5.2)
10 月	258(10.8)	5(6.2)	59(1.0)	317(3.9)
11 月	(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
計	2,392(100.0)	81(100.0)	5,766(99.9)	8,158(100.1)

(2) 志賀施設月別宿泊利用人数

区 分	年・月	11年											12年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
利 用 人 数	学 内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	13	
	合宿研修等	0	0	0	7	141	209	0	0	0	0	0	0	0	357	
	学 外	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	8	14	0	55	
	計	0	0	0	40	141	209	0	0	0	8	27	0	(489)		
宿 泊 延 人 数	学 内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20		
	合宿研修等	0	0	0	7	274	408	0	0	0	0	0	0	689		
	学 外	0	0	0	66	0	0	0	0	0	8	28	0	102		
	計	0	0	0	73	274	408	0	0	0	8	48	0	(616)		
														811		

() 内は平成10年度の数